

6.15

西日本10万御堂筋占拠から

1月佐藤訪米實力阻止を展望せる

— 朝鮮タリヤ學生同盟市大支部 —

5、23を頂戴とする。會政は口法粉碎の斗いは、学園でこの様な
 先進的な戦いを担う全斗斗を孤口、セン戒させる事にまつて、70
 日政者の各校の深々を伝はり、諸議發する諸斗争との結合を高揚を
 阻害せんとする政府の70年路線に全面的に反対するものとしてあ
 る。こゝに70年斗争への事前強はであり、治口口法であることにな
 りて年代帝國主義的軍編への受機構の直接的組み入れを背景とし
 ているが故に、全国の学園における子會治口口法粉碎の斗いとし
 て燃えあがっている。他方こうした70年斗争の伝はりの中で斗か
 られた今春斗は、民団幹部の裏切りの中で所仲者の斗うエセルヤ
 ーの買上げが目立っているが、国斗スト中止にみられた「チヨウ
 テイナウハキワメテフマン、ダンゴストライキヨウチヌケレ

(國府田津支部)の又な下部からの突き上げ等、実力奮斗の排
ばへは激多く出てゐる。又、沖繩全軍中の之ヲ禁止命令をみ
こえて實上は要求の遂行には、愛知前米の期間に當る事によ
つて沖繩斗争の格上げといふ米軍基地をスツマヤけた事におい
極め政治的な性格をもつたものであった。

このような沖繩、宮城斗争の中にあって佐藤は若宮内閣としての
 性格をいさよ出しにはじめた。「大令内閣」を若宮内閣としてし
 かてつてやるをえない佐藤は、12日間の国会公休延長も含めて
 「大令若宮内閣法」を上程、強行しようとしている。この佐藤の意
 図は、「暴力学ばきヤンバーンに吸収された社民の議会内野口の
 無力をよみ取き、国会解散、総選挙のイニシアをとり秋の訪米へ
 むける」の10年ゴーズの総仕上げを完成しようとしている。これに
 対する6月斗争は我々の緊急の課題である。6、7の斗いは、4
 月斗争が切り拓いた道を要知訪米阻止、ASPCA粉砕の斗いで
 継承しそこに諸部隊の合流点であることに、11月訪米阻止、70年
 、70年代階級斗争を斗い抜く自立した部隊を大衆的に結集し、70
 年政変過程へ直接的に介入していく起点でもある。70年戦線を担
 う諸勢力の一大下モンストレーションとして首都10万人大行動